

For Adult Only

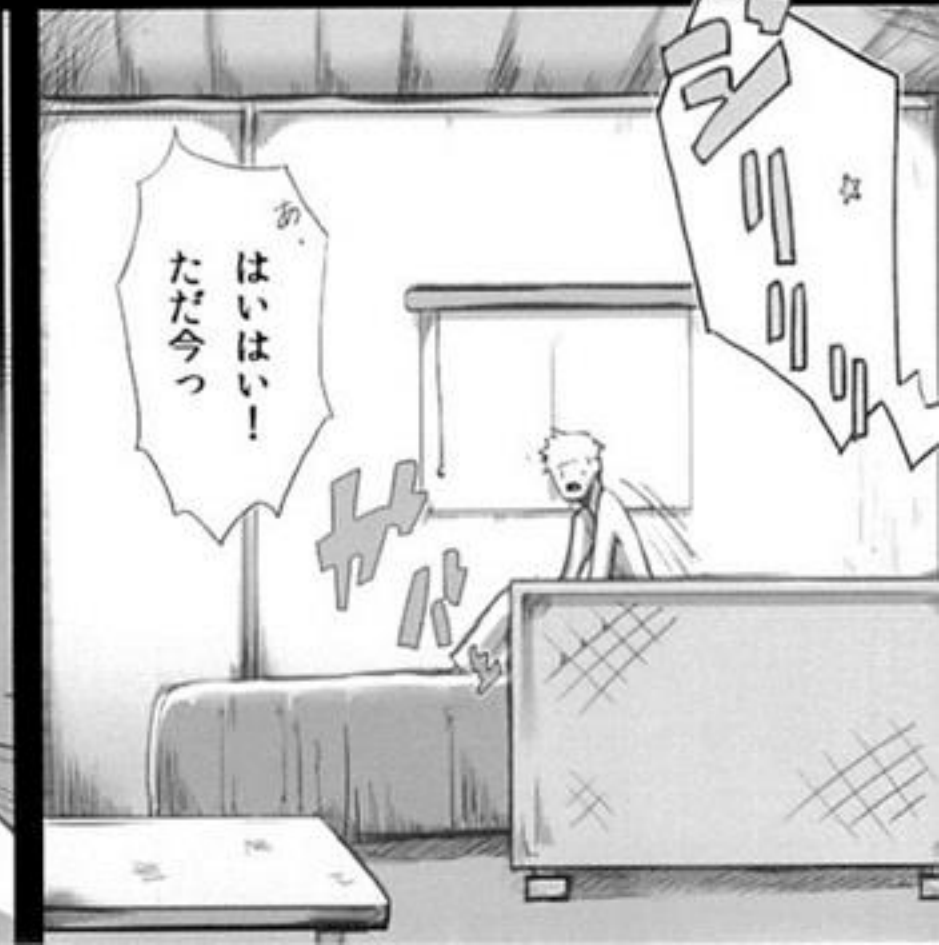
GREAT Acta
2014 Summer

俺の嫁さんになって！

500000 G ▼

俺の嫁





あ、
はじめまして！

依頼の件で
ハンターギルドから来ました
リーザと申します

よろしくお願
い
します♡

にこ♡

にこ♡



あ、どうぞ
上がってよ

はい♡
お邪魔します



ど、どうも
お待ちしました…
こちらこそよろしく



野犬くらいなら俺たちのような
一般人でも何とかなるが、
中にちよつとした手配モンスターが
混じっていたので、会社で
ハンターギルドに
掃除を頼むことにしたのだ

郊外の街道にたむろしてる
モンスター退治の依頼だった



今回、仕事の依頼をした俺、
プロデューサー在住の
しがない一般市民、独身。
タクシーの運転手で
安アパート住まい

てれ

てれ

大したものない
部屋ですケド…

いいえ、
素敵ですよ
日当たりとってもイイです♡



そして案の定、
見るからにガラの悪い連中が
派遣されてきたワケだが
…しかし
その中の一人が…



初めて足を踏み入れた
ギルドはまさに
『ゴロッキのたまり場』
といった感じで
雰囲気はサイアクだった…

歩んできた俺にとっては
正直、ならず者がまがいハンターに
良い印象は持つてはいなかった



俺は彼女に
一目惚れをした

その魔法使いのねーちゃん…
いや、お嬢さんというべきか
物陰で戦闘を見ていた俺は
彼女の姿に釘付けだった

真っ直ぐで透き通るような金髪
素朴さもあり人の良さそうな出で立ち
幼さの残る顔には不釣り合いなほど
ユサユサ揺れて目立つ巨乳…
腕も確かなようで、
モンスターはあつという間に
片付いてしまったが、俺は
それが残念でならなかった…



その後俺は
ギルドの足しげく通い
彼女に関する情報を集めた…
その結果、多くの事がわかった

実はゴットハンターで凄腕だった事
プロディアスのハンターではなく
世界中を回っており、あの賞金首の
アークの仲間だという噂も…

聞くからにヤバそうな話が
ポンポン出てきたが、中でも
一番気になった噂がある
チンピラみたいなハンターが
ニヤニヤ笑いながら話してくれた



ギルドには裏の顔がある
表沙汰にできない類の依頼を
扱ってるらしいのだが、彼女…
リーザはその裏の業界で
活躍しているハンターとの事

内容はアークを秘密裏に支援する
各国の有力者、資産家の
オヤジども相手に
体で奉仕すること…
いわば高級娼婦的な仕事だ

中には度を越した
変態行為を強要するクズもいるが…
リーザはそれにも笑顔で応える事で、
有名らしい
ここプロディアスにも年に数回
その手の依頼を受けにやってくるのか…

その報告はおれにとってはシヨックだった…が、俺には別の感情が芽生え始める彼女に抱いた淡い気持ちは、そのまま欲望へと変換された

俺は夜な夜な彼女の痴態を想像した…彼女の肢体を、匂い、嬌声を…

あの幼い顔は、快感でどのように歪み、悶えるのか体の上で跳ねる乳房の重みはどれほどだろうか…俺は日に日に劣情を募らせていった

やがて欲望が限界を突破し…俺はある決断をする

それは俺から彼女への依頼だった。曰く『俺の嫁さんになって！』報酬はざっと5000000G

…裏の仕事なので法外すぎる金額だ…

俺は貯金と、仕事の退職金全部さらに家具を何点か売っばらってこれに充てた自分でも馬鹿な事をしていると思うが、仕方ない俺は彼女に首ったけなのだそれでも期間は2週間ほどであるとんでもない娘だ…

そして待つこと数週間今日この日、やっと俺の夢はかなったのである

すいませんね、何かよくわからない依頼で嫁って…

い、いえ

嫁って言われても困っちゃいますよね

あはは…

それで私何をすればいいですか？

あの…

あなたの嫁さんとして…

あっ……!

初めて彼女に挿入した

出会ってから10分と経っていない

綺麗に刺り上げられた恥丘……

中は既に温かい愛液で

満たされている

ズ
ハ
ッ
ッ
ッ

んっく

ヒクッ

ギクッ

△

大袈裟な胸、ポリウム満点の尻
まさに淫売のために完成されている
俺の理想通りの、極上の体だった

ふっ

……っ、凄……ッ!

搾り
取られそうだ……

はっ

ズ
ッ
ッ

い……い……っ

いいです……ッ!
出してください……っ

ッ
ッ

やべっ
イツ……きそ……!

はんっ

ズ
ッ
ッ
ッ

ギクッ

ン

ズ
ッ
ッ
ッ

キ
ッ
ッ
ッ

あふっ……!



そういうと彼女は、二人の
体液でどろどろに汚れた
チンポの前にかがみ込み、
何の躊躇もなく口に含んだ

んっ！

んっ！

フェラもかなり慣れてる様子：
今まで自らのマンコに入ってた
排泄を終えたばかりの肉棒を
口内全体を使って洗浄している

んっ

唾液を分泌し精液と絡ませては
喉を鳴らしそれを飲み込む：
チンポの付け根には
彼女の生温かい鼻息が当たっている

ふっ

んっ

尿道に残った精液も
残らず吸い取られていく
壮絶な舌使いと
ディープスロート

チンポは綺麗にされたが
それは前より更に固く怒張し、
俺の睾丸には再び彼女を汚すべく
新しい精液が充填されていた

…っ

はあっ

ハア…

んっ

んん…



ふう…

どうですか？
私のおっぱい…

あ、ああ
すごくイイ…

ん…♡

ぐにゅ

俺の要求でパイズリしてもらった
それも縦パイズリ…
彼女が乳房を寄せ上げて
俺のチンポを包み込む

根元から全て脂肪で覆われても
俺の先端が彼女の
胸壁に届くことはない…
凄まじいポリウムと圧力

ヤ

ふっ

ん



ふうっ

ん！

いいんですよ
気持ちよかったら

出しちゃってくださいね♡
顔でも、胸でも口でも
どこでもいいですから…

辛抱堪らない俺とは裏腹に、
彼女はオモチャで遊ぶ少女のごとし
実に楽しそうに俺のチンポを
胸でしごいていた

ストリユ

ストリユ

んふっ

キ

んん♡



…ん♡

今作られたばかりの
新鮮な精液が、彼女の顔や
上半身に飛び散り、汚していく

射精の勢い余って
チンポは胸から
すっぱ抜けてしまった。

きゃあー！

…ッ！



んふ♡

ありがとうございます
こんなにいっぱい
出して頂いて

他に
使いたいところがあったら
遠慮せず何でも
言ってください♡



んふ♡

んふ♡



んはっ

はっ♡
あっ♡



んはっ

フウツ

その後はほとんど言葉もなく、
ひたすらまくわった…
夜までに、一体何回
中出ししたか覚えていない

一回空になるまで注ぎ込んでも、
出しまったそばから精力が回復し、
抜くこともなく何時間も
ハメ続けられた
こんなことは初めてだ…
…もしまや以前見た、
彼女の回復魔法かもしれない

んつく…ツ

…女に不自由しないであろう
金持ちのオヤジが彼女を
好んで抱く理由がわかった気がする…
彼女は最高の体だった





リーザ…さんはさ、
いつからやってるの？

…ふうふうコト

はい？



はーっ…
ほっとします

疲れちゃいました
体強いんですね

あ…ごめんな
無理させて

いえ
平気です



プカ
カ

素直で育ちも良さそうな子だが、
何でハンターをして、しかも
体を売っているのか…
仲間に強要されているのかも。
そうも思ったが
どうやらそうでもないらしい…

控えめで大人しい
物言いながらも、
ところどころで彼女の
隠れた快活さが聞いて取れた

散々交わった後だが
風呂で彼女と話をしてみた
思ってたよりも彼女は
積極的に明るい子だった



私の体で、男の人が
快感を感じて、
満たされていくの…

それに…あの、
私好きですから
…ふうふうの…

肌で感じるんです
それが嬉しくて…
気持ちもイイですし…



…私はそんなに
強くないから

皆の役に立てるように
私に出来ることを
やっているだけです

…

もともと
彼女はこういう子なのだ

…
そういうもんか

風呂を出て、そのまま
ベッドに直行し
夜の部が開始された

昼間ハッスルしすぎて
俺は疲れきっていたが
彼女は全然そんな様子もなく
ガンガンに腰を振っていた

目の前で巨大な二つの重量物が
はち切れんばかりに暴れ回っている
水に濡れた肢体は窓からの
月明かりを反射してテカテカと光っている

その光景に
俺のチンポは今までになく
熱く固く怒張しているのだが
俺は体を動かすことができない

あっ！

あんっ

んはっ

はあんっ

ふっ！

んっふっ

んは！

ハアッ

ハアッ

はあっ…



何かイイ匂いが...

...体痛って...

...

ンガ

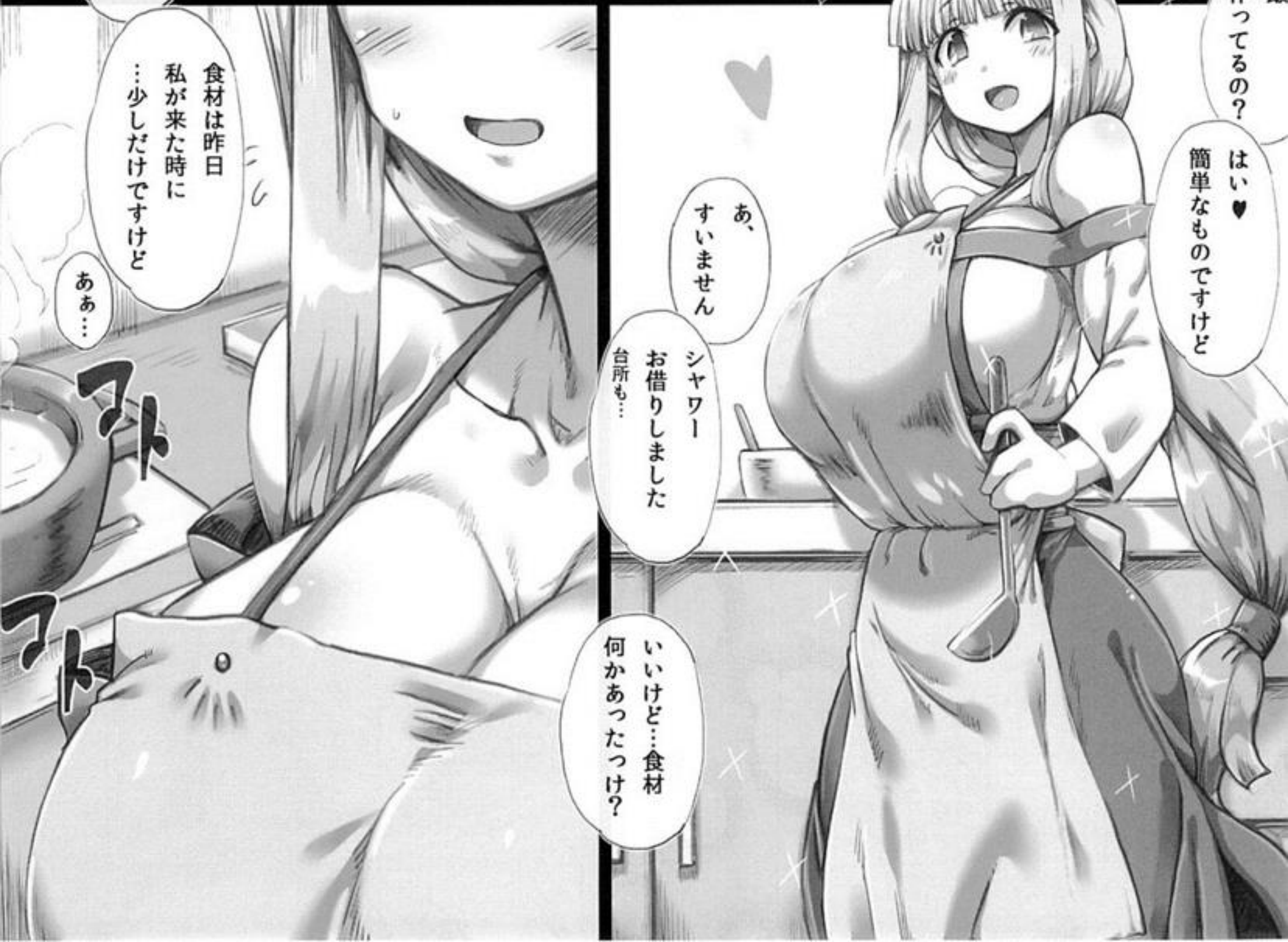


フフ♥
よく眠って
らっしゃいましたね

あ、

おはよう
ございます

あの...



食材は昨日
私 came 来た時に
...少しだけですけど

ああ...

フツ

フツ

あ、
すみません

お借りしました
台所も...

いいけど...食材
何かあったっけ?

飯
作ってるの?

はい♥

簡単なものですけど



……

そんな彼女の姿は
たまらなく愛おしいやら、
ムラムラくるやら、何やらで……
たちまち息子が元気になってしまった



あの、好き嫌いとか
ありましたか？

言ってもらえれば
避けますから……

いやッ

まだ料理中
今は……



き、気にしないで
続けていいよ……

ムチャ

言わないで下さ……

あッ……



ズズ



……ッ！

きゃああッー！



彼女の料理は
それはもう、減茶苦茶
美味しかった

こんな料理上手で
Hな体の嫁さん貰えるなんて
俺はなんと幸せ者なんだ
…期間限定だけど



…料理中なんて
手早く抜いてもらって
待機する俺



んはあッ♥

あっ…

ギッ

んあ…

ギッ



んっく…

んふっ

食欲を満たした俺たちは
すぐさまセックス
昨夜の疲労感は完全に回復し
力いっぱい彼女を抱きしめた

ギッ

ギッ

んん…

んっ♥

んフウッ

ギッ



アチエウ

…俺の
一発中出し決めたあとは
アナルセックス初体験

…は!

んあはあ…ッ!

はう…ッッ…

ギッ

ギッ



んふっ

んふーっ
んふうー……っ



…ッ

マンコとは全く
違う感覚…
チンポに感じる腸壁は熱く
肛門の締めつけもかなりキツイ
俺が違いに驚いたのは
だが一番、
彼女の様子だった

うゝあゝ…

ハアッ

今までセックスで余裕を
感じさせていた
彼女の表情は強張り、
耳まで紅潮させている

全身はじつとりと汗をかき
俺の腕の中で小刻みに震える
肩を上下し
呼吸とともに声が漏れていた

あっく…



はへ♥

キワまって乱れる彼女の姿は
たまらなく愛おしかった
そして腸内にありつたけの精液を
注ぎ込むと、二人とも深い眠りに落ちた…

っハアッ!

ハアあッあ♥



俺には、それが
痛みを感じているのではない
押し寄せる快感に
溺れているのだと分かった

んああ!

ピストンをはじめると
はしたない声で哭きだした
アナルが性感帯なのか…

んへあああッ

俺は悶え狂う彼女の肢体を抱き
ひたすら尻穴を愛し続けた

彼女の嬌声が響き渡り
んはあああッ

彼女の撒き散らした潮がシートを汚し
匂いが立ち込める

あつは…

カハッ…

カホ

カホ

カホ

カホ

それからの俺たちは
毎日毎日、朝晩問わずしゃく
やりまくった



腹が減ったら食べ
臭くなったら風呂でセックス
疲れたら眠った





はああッ

ラブラブの
新婚カップル然していたのは
最初の一日だけで
数日も経つとほとんど
セックスしなくなっていた

服を着ることもなく
言葉も少なくなり、まるで
俺たちは発情期の動物のようだった

ハアッ
ハアッ

ドクッ
ドクッ

はっ
はっ...

マンコに、アナルに、口に
俺は一日何十回も彼女に精液を
注ぎ込み続けた



はあーッ...
はあー



ふんっ
フウ...っん

フッ

ふんっ



なあ、
リーザ…

うん？

…このままここに
ずっと居る気はないか？
…ハンター辞めてさ

…稼ぎは少な、
いや多くはないけどさ
でも危険な事する必要ないし…
俺働いてリーザに楽させるから

俺、
リーザの事が…

だあ..

ごめんなさい…
これが私の
やるべき事だから…

くっ
くっ
くっ

『あと一週間したら、私行きます』

リーザははつきり言った

あッはああ!

んあッ

はあんツ

あッ...

あッ...

あうんツ

この一週間彼女を
抱いてきたから分かる...

多分そう言うだろうなとは思っていた
これが彼女の人生なのだ

にべもなく

フラれてしまった俺は

思いのたけを目いっぱい

彼女の中によち込んだ...



ずっと俺たちは
寝る間も惜しんで
ひたすらまくわっつろした

ズッポ

んんう

ズッポ

ズッポ

んああっ♡
んっハ……!

ふっ…

フウツ

ふーっ…

あっ…あぁ…ッ

ふあ

朝も昼もなく、
一日のほとんど交わり続け、
何十回と一番奥への中だし

死なない程度には食事を取ったが…
何日も風呂にも入らず
体は汗と唾液と精液と愛液でベタつき
部屋は俺とリトザのにおいで充満している

はあああ…んッ

時間の感覚は
すっかりなくなつたが、
それでも依頼の期限は
刻々と迫って来ていた

ハアツ

ハアツ…ハツ…







はっ…

…寂しい？

…うん…



んっ

なあ…
リーザ頼むよ

…うん…

ここにいてくれよ
リーザ…

お前が
いなくなったら
俺…

ふっ…



…ん？…
♡

…ん？…



大丈夫よ…
寂しくないようにね

私のおつておきの魔法
かけてあげる…
あなたへ…

そっ…



あなたと私は
いつでも
繋がっているわ…

元気を出して あなた…
大丈夫
きっとまた来るから

…
リーザ…



ラヴィツシユ

…!



んっ…♡

びんびん…
どくどく



最後の彼女の魔法…
あれは一体何だったのだろうか
よく分からなかったが、俺は
なんだか不思議な気持ちになっている



『ずっと繋がっている』か…
…確かに。
俺は自分の心がすっかり
彼女のものになっていると
実感していた



最後の情事を交わしたあと
精根尽き果てた俺を尻目に彼女は
シャワーを浴び、服を着て
さっさと出て行ってしまった
次の仕事が入っているのだろうか…
彼女はまた別の誰かに抱かれに
いくのかもしれない…



…
金貯めるか…
また

ギミ

▶ 俺の嫁さんになって!



あとがき

- どうもtokyoです。暑い日が続いておりますがいかがお過ごしでしょうか。その暑さにやられた前PCに代わって、新たに仕入れたPCにて初めて制作した本であります。これ原稿期間にイカれたため環境整備大変やった…
- 今回またも俺得のリーザ本。前回の本の続きではなく、完全独立したものになっております。当初予定してた題材が頓挫したので20分くらいで話考えて作りました。カネ払ってリーザさんとバコバコする。カンタン！…前回リーザ本の続きはまた今度作ります
- 乳大きく描きすぎた！（今更しばらくリーザ搔いてなかったのが加減が全くつかなかったのだ…色も忘れてたしまあウチのリーザさんはモンスターゲームでひたすらみなぎる果実やら生命の木の実やらかじってたので、体の方はボリューム満点に成長しているのだ。そういうことにするのだ
- 当初の予定してた本ですが、POKEMON BW2のメイちゃんの本作る予定でした。これもそのうち続きから描きたいと思っております。ルビーサファイアも出ますしね。また熱が高まりそうな予感がします。ルビサファそんな好きじゃなかったけど…
- 次の予定は冬コミです。間に何かしら申し込むかもしれませんが、わかりません。何の本になるのかもわかりません。今ハマっているものはファンタジスタドルのソシャゲです。描くかも（暴挙
- 時間も押してるので今回はこのへんで。この度は本誌を手にとって頂き、誠にありがとうございました。

奥付

俺の嫁さんになって！ 500000G

発行日：2014/8/17

発行元：GREAT芥 HP：<http://acta.sblo.jp/>
twitter：Yurukage

著者：tokyo

印刷：ねこのしっぽ 様



GREAT Acta Presents